

## 2023 年期 第 6 回テーマ

### 33～40 班

テーマ	<p>近年 AI や RPA 等の導入による業務の自動化が進む中、監査業界においても導入が進み、会計数値の集計や分析等の監査調書作成作業や開示チェック作業の一部が自動で実施できるようになりました。</p> <p>AI や RPA による監査調書作成作業や開示チェック作業の過程はプログラム化されており、その作業過程を監査人であるあなたが目視で確認することは不可能です。</p> <p>このような状況下において、あなたは以下の 2 点につきどのように考え対応しますか。理由とともに述べなさい。</p> <p>① あなたは監査チームの一員で、複数の重要な勘定科目を担当しています。監査調書の作成における財務数値の集計や分析等の作成過程が目視で見えない中、あなたは AI や RPA が作成した監査調書において監査上の結論をどのように導き出し判断しますか。また AI や RPA において監査調書作成上異常点が識別された場合、どのように判断し対応しますか。</p> <p>② あなたは監査チームの主査を担当しています。AI や RPA による監査調書作成や開示チェック作業が含まれる監査の実施における監査の結論の導出過程について、クライアントの監査等委員会や監査役会へ、どのように報告・説明しますか。</p>
-----	---